

五十鈴の風

平成26年1月発行
発行：市立伊勢総合病院

安心していただける医療を



年頭のあいさつ・・・院長 藤本 昌雄



新任医師の紹介・・・よろしくお願ひします



院内各科紹介・・・形成外科



看護部シリーズ・・・回復期リハビリテーション病棟

院内部署シリーズ・・・医療事務課 電算システム係

健康メモ・・・コワ～い？ 食道がん

院内トピックス・・・健診センターよりレディース・デーのお知らせ

栄養管理課だより・・・栄養士おすすめメニュー「鶏肉と冬野菜の煮物」



「厳冬の峰(北穂高岳山頂より)」 仁木 康雄 (内科) 撮影

事務局だより

皆様から『五十鈴の風』の表紙を飾る写真を募集しています。広報図書委員会事務局(総務課 中村)までお願いします。

市立伊勢総合病院 の基本理念

患者さんの立場より	愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療
病院機能の立場より	良質かつ高度の医療
地域医療の立場より	円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療

迎春

年頭のあいさつ

病院事業管理者 院長 藤本 昌雄



謹んで新春のお慶びを申し上げます。新しい年が皆様にとりまして「おすこやかに希望に満ちた年」でありますようにと心からお祈り申し上げます。

さて、昨年には新病院の機能・規模に続き、建設地が決まりました。現病院の隣接地で、敷地が拡大されることとなりますので、癒しと憩いの空間、皆様の療養に最適な環境づくりを目指して行きます。

また、昨年9月にはリハビリテーション病棟を開設し、社会復帰を目指す多くの皆様にご利用いただき、着々と成果をあげています。何よりもリハビリに励む患者さんと一体となり、支援する職員の表情が生き生きしていることが病院にとって大変心強いことでもあります。10月にはヘリポートが完成し、その当日に整形外科の患者さんが早速救急搬送されました。今後、外科系だけでなく内科系もドクターヘリで搬送される救急患者を受け入れることができるように医師確保、育成にも努め、更に時間内救急の充実を図ってまいります。11月の「伊勢病院ふれあい祭り」にはたくさんの方にお越しいただきありがとうございました。市民有志、明野高校からは「催し」「出店」などのご協力をいただき、伊勢市消防本部からは救急車やはしご車の展示をしていただきました。今回は「来て、見て、知ってみんなの伊勢病院」をスローガンにし、市民の皆様には病院のことを理解してもらい、自分や家族の健康について考えていただき、そして一人でも多くの若い人が将来医療に就くことを志し、市民のための医療が次代に受け継がれ、更に進歩することを願って開催しています。12月の防災訓練では救急搬送に加え、自衛隊ヘリによる患者搬送というデモンストレーションを行っていただきましたことは、職員にとって大きな励みとなり、災害時にも活用できることが実感できました。ヘリポートは当院が災害時にも強く大いに役立つ病院づくりをしていくことをアピールし、そしてDMAT研修に早く参加できますようにと希望を込めて整備しました（駐車場でご迷惑をおかけしており申し訳ございません）。「伊勢病院ふれあい祭り」「防災訓練」の開催にあたりましては陸上自衛隊中部方面航空隊、明野航空学校、伊勢市消防本部、伊勢地区医師会、地区住民の方々、多くの市民有志の方にご理解、ご協力、そしてご協賛をいただきましたことに深く感謝しお礼申し上げます。そして今年の開催にあたりましては何卒ご支援を賜りますようお願い致します。

そして、生活習慣病対策につきましては第2段階を迎え、今年は更に活動範囲を広げることができる年でありますようにと願っています。昨年には「職員から家族へ、そして市民へ掛けよう健康の輪」をスローガンに院内研修を始めました。今年は市行政と一体となり、皆様により密着した医療、保健活動を展開していきたいと考えています。出前講座などの啓発運動、保健指導、受診勧奨の推進など多くの課題を着実に実行できればと思っています。

職員一同力をあわせ皆様の健康増進とQOL向上に役立つことができるように全力を尽くしますので、本年も宜しくご支援をお願いいたします。

新任医師の紹介 — よろしくお願ひします



にぎ
仁儀 陽子 (皮膚科)

出身地：松阪市 出身大学：岐阜大学 前任地：三重大学医学部附属病院

特技/趣味：映画鑑賞

一言：患者様から信頼される優しい医師であれる様、日々努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。



藤原 さおり (研修医)

出身地：伊勢市 出身大学：三重大学 前任地：三重大学医学部附属病院

特技/趣味：猫に遊んでもらうこと(笑)

好きな言葉：精神一到何事か成らざらん

一言：体調を崩して中断していた研修医を再開させるチャンスを頂き本当にありがたく思っています。ブランクを初心ととらえ、患者さんに寄り添った医療を提供できるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



形成外科は歴史が浅く、皮膚科、整形外科、耳鼻科、口腔外科などと治療対象になる病気が重複しています。

県内の市民病院クラスで常勤医が外来を行っているのが3、4ヶ所と少ないため、地域によっては、形成外科がどのように治療を行っているのか、あまり認知されていません。治療内容については施設によって偏りはありますが、主に体表面の形態異常（指が多い、耳が小さいなど）や外傷、あざ、皮膚腫瘍、手術後などの傷跡や変形などを対象にして

ています。また、乳ガンで乳房が切除された後、人工物や自身のお腹や背中からの皮膚から筋肉までを使って乳房の代用として“膨らみ”を作るような“再建”を行う施設もあります。

当院の形成外科は、常勤医1人と、所属大学からの応援（月・水曜日のみ）で外来と手術を行っています。現在、広報いせの新年号に掲載させていただいた内容で診療を行っていますが、来年度から勤務体制が変更になるため、今年度末から当科を受診される方や病院関係の方々にご不便やご迷惑をおかけすることになると思いますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

（形成外科 部長 飯島 由貴）

看護部シリーズ

回復期リハビリテーション病棟



平成25年9月に新しく5東病棟に開設した回復期リハビリテーション病棟は、病棟内にリハビリ訓練室と日常生活動作訓練室を設け、在宅に戻るまでの患者様を対象として、365日集中的にリハビリを行っています。

リハビリテーション病棟は、藤田保健衛生大学から招聘している前島先生・前田先生とともに、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・介護福祉士が

協働し、一人ひとりに合わせた質の高いリハビリを提供するためにチームで日々取り組んでいます。

在宅復帰に向かって、家族が患者支援の中心的存在であることを認識し、患者・家族が安心して笑顔で退院できるようスタッフ一同頑張っています。

（5東病棟 看護師長 岡 信子）



医療事務課電算システム係は、院内のコンピュータネットワークの整備や医療情報システムの管理運営（障害対応を含む）に関することなどを中心に業務を担当しております。

各部門における医療情報システムを整備することは、院内スタッフの業務の効率化や、患者さんにお待ちいただく時間の短縮などにもつながります。

私たちは、患者さんと直接関わることは少ないですが、常に縁の下の力持ちとしてお役に立ちたいと思っております。

（電算システム係長 南平 貴志）

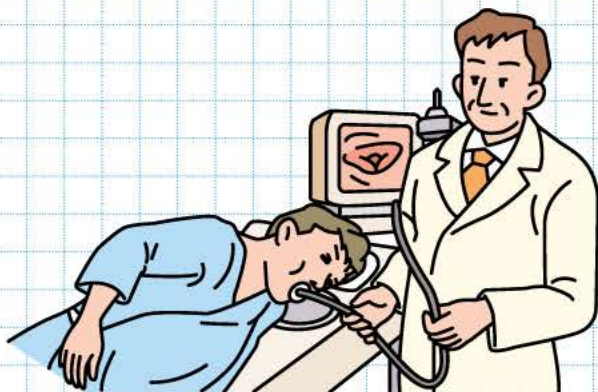
健康メモ

コワ~い? 食道がん

食道がんは日本において年間約1万人程度（胃がんの1/10程度）が罹患していると言われ、男性に多く、40歳代から増加し始め60歳代の方に最も多いと言われていています。原因は明らかではありませんが、最も影響があると言われているのは飲酒、喫煙です。また、熱いもの、辛いもの、焦げたものの摂取なども一因として考えられています。

食道がんの初期はほとんど症状がなく、あってもものどの違和感程度です。しかし、進行するにつれて、のどや胸の「しみる感じ」や「つかえ感」、「飲み込みにくい」、「食べ物の逆流」、「声のかすれ」などの症状が出現し、最終的には「栄養失調による体重減少・衰弱」へ至ります。

食道がんといえば、つい先日のように、著名人の死因としてもしばしば耳にすることもあり、非常に怖い病気のイメージをお持ちではないでしょうか？もちろん、食道がんは早い段階からリンパ節や他の臓器に転移をおこしやすいため進行しやすく、また、手術治療では胃癌や大腸癌と比べると大きな手術となるため身体への負担も大きく、怖い病気の一つであることは間違いありません。したがって、食道がんは早期発見が重要となります。進行していなければ、胃カメラでの粘膜切除で根治切除が可能な場合もあります。そのためには①胃カメラなどでの定期検診に努める、②変わった症状があればすぐに専門医療機関へ受診することが重要です。もちろん、胃カメラでの根治切除が不可能な場合でも、最近是集学的治療（手術、化学療法、放射線療法など多岐にわたる治療法を組合わせた治療）により以前と比べ治療成績も向上しており、患者様ご自身に合わせた治療法を選択することも可能です。気になる症状などがあれば、是非勇気をもって(?)お早めにご相談下さい。



（外科 副部長 岡本 篤之）

院内トピックス ～女性の健康のために～

健診センターにてレディース・デー実施 平成26年3月19日(水)

健診センターでは、女性の皆さまに、より快適な環境でリラックスして健診を受診していただけるように、女性のための健診日（レディース・デー）を実施します。

当日は、全てのご予約を女性に限定し、診察や検査を担当する医療スタッフは全て女性（ただし、胃カメラ検査を除く。）で対応いたします。

普段、仕事や子育てが忙しく、健診を受けたくても受けることができない方もかけがえのない健康を大切にするため、この機会に是非ご予約ください。

検査コース、料金、開始時間等は加入されている健康保険等により異なり、定員もありますので、受診をご希望される方は、まずは電話にてお問い合わせください。



*お子様連れで受診される皆様へ

レディース・デーには、健診を受診している間、院内保育所にお子様を一時的に預けることができます(無料・完全予約制)。

●お問い合わせ 健診センター室 Tel: 0596-23-5416



栄養管理課だより 栄養士おすすめメニュー

鶏肉と冬野菜の煮物

【風邪を予防しましょう】

風邪予防のためにとりたい栄養素はたんぱく質とビタミンC、β-カロチン。体を温める食材を取り入れて冷えを解消し、ビタミン類で粘膜や皮膚を健康に保ち、免疫力を高めましょう。今回は体を温める食材である鶏肉と冬野菜を使ったお手軽レシピをご紹介します。

材料(2人分)

- 鶏もも肉(皮なし).....1/2枚(120g)
- かぶ.....1/2個(100g)
- 人参.....1/4本(40g)
- 白ねぎ.....1/3本(40g)
- ほうれん草.....40g
- サラダ油.....大さじ1



- A
- にんにく...1かけ
 - しょうが...10g
 - 酒.....大さじ1
 - しょうゆ...小さじ1
 - こしょう...少々

- B
- 水.....150cc
 - 砂糖.....大さじ1
 - 酒.....大さじ1
 - しょうゆ.....小さじ1
 - 鶏ガラスープの素...小さじ1

<1人分の栄養価> 207kcal
たんぱく質13.1g 食塩1.6g

- C
- かたくり粉...小さじ2
 - 水.....大さじ1

作り方(レシピ)

- ① 鶏肉は一口大に切る。かぶは乱切り、人参はイチョウ切り、白ねぎは2cm長さに切る。
- ② ほうれん草はゆでて絞り、4~5cm長さに切る。
- ③ にんにく、しょうがはみじん切りにする。
- ④ フライパンにサラダ油を熱し、①の鶏肉、人参、白ねぎを炒め、Aを加えてさらに炒める。
- ⑤ ④に水とBを加え、ふたをして5分程度煮、①のかぶを加えてやわらかくなるまで弱火で煮る。
- ⑥ ⑤にCの水溶きかたくり粉でとろみを付け、器に盛り、②のほうれん草を添える。